岩手日報
発行所
株式会社岩手日報社
盛岡市内丸3—7
電話代表(23)4111
振替口座盛岡20番
©岩手日報社1968

被害額は八億円

県の対策本部集計まとまる

水産関係が半分以上も

県十勝沖地震災害対策本部（本部長平田知事）は同地震による県内の被害状況をまとめていたが、十七日午後三時現在の集計では被害総額は八億円に達し、特に水産関係の被害は全体の五割以上を占める四億七千九百万円に上った。しかし調査の進んでいないところもあるので、同本部ではさらに六億円前後の被害があるものとみている。

被害のあったのは釜石、宮古、山田、久慈、浄法寺など三十五市町村、最も被害の大きいのは明治都山田町で三億七千万円・これに釜石市の一億五千六百万円、一戸郡浄法寺町四千五百万円、久慈市の二千五百万円が続いている。また施設関係では、水産関係に次いで住宅関係が六千八百万円、学校関係五千三百万円、漁港施設四千八百万円となっており、建設省、運輸省の所管土木施設にも七千万円の被害があった。

市町村別のおもな被害額は次の通り。（単位千円）

【一関市】▽計一、二四〇（農地七〇〇 林業五〇〇ほか）【田野畑村】▽計二一、五九〇（建設省関係一、一三〇 漁港二〇、一一〇ほか）【岩泉町】▽計一七、九五六（水産二一、一六六 建設省関係七九〇ほか）【大槌町】▽計一六、六七四（水産一〇、三〇四 建設省関係七二〇 住家二、七〇〇 漁港二、五〇〇ほか）【山田町】▽計三七〇、四五〇（水産三、五六〇、七五〇 漁港一三、〇〇〇ほか）【釜石市】▽計一五六、五六九（建設省関係一、二六〇 運輸省関係三、一六〇 住家二、五、五〇〇 漁港四、四〇〇 農作物一、三六五ほか）【川井村】▽計一、一六〇（建設省関係一、一六〇）【宮古市】▽計三一、五一一（運輸省関係九、一六〇 住家七、六〇〇 漁港五、〇〇〇 林業八、〇〇〇ほか）【新里村】▽計四二五（建設省関係三五〇ほか）【盛岡市】▽計三、四一五（農地一、〇〇〇 学校一、二〇〇ほか）【玉山村】▽計三、七三三（建設省関係一、一八一 農地一、六〇〇ほか）【松尾村】▽計六、三〇〇（建設省関係五、七〇〇ほか）【室石町】▽計一一五（農作物八五ほか）【福岡町】▽計八、〇三五（建設省関係四、四七〇 農地二、四三〇ほか）【金田一村】▽計一四、三八〇（建設省関係一、一〇〇 農地一、六八〇 住家八、五〇〇 林業二、〇〇〇ほか）【浄法寺町】▽計四五、三一〇（建設省関係四、六〇〇 学校四〇、一〇〇ほか）【軽米町】▽計七、六六九（建設省関係一、四三八 林業五、〇五〇ほか）【東町】▽計四五〇（建設省関係四五〇）【久慈市】▽計三五、四三九（建設省関係一八、一〇〇 住家五、六七〇ほか）【種市町】▽計五、三六五（漁港一、三〇〇 林業三、七九〇ほか）【北上市】▽計九〇〇（建設省関係九〇〇）【九戸村】▽計三八〇（建設省関係二五〇ほか）【岩手町】▽計一、六六〇（農地一、五三〇 住家一、二〇ほか）【安代町】▽計六、一六〇（林業一、七〇〇 学校一、八〇〇ほか）【盛前高田市】▽計五〇〇（農地五〇〇）【滝沢村】▽計一、三〇〇（住家一、一〇〇ほか）【野田村】▽計一、三一〇（漁港一、三一〇）【田老町】▽計六五〇（漁港六五〇）【大船渡市】▽計七〇〇（林業施設七〇〇）【衣川村】▽計五〇〇（林業施設五〇〇）【雫石村】▽計三〇四（学校関係一五四ほか）【一関市】▽計一〇〇（学校関係一〇〇）【県有施設】▽計三四、七四三（道路一七、八三六 学校六、一一四ほか）

「養殖」に大打撃

県漁政課調べ

県漁政課は、十勝沖地震による水産関係の被害状況をまとめていたが、十七日午後七時現在の集計では被害額は八億円に達し、特に水産関係の被害は全体の五割以上を占める四億七千九百万円に上った。これは、同課が県十勝沖地震災害対策本部とは別に、県内各水産事務所を通じて調査したもので、これによると県沿岸部十四市町村全部が被害を受けた。中でもノリ・カキ・ワカメ類の養殖施設流失、大破が五億九千五百万円と全体の三割を占めており、漁民に大きな打撃を与えている。

同課が確認した被害状況は、海産物共同処理場、倉庫など水産施設倒壊三千六百五十万円、動力、無動力船流失、大破九百三十二隻、一億七千六百一十万円、漁具流失二億二千万円、養殖施設流失五億九千五百万円、水産物流失四億九千万円、合計十五億一千万円となっている。特に養殖施設の流失被害が最も大きいが、五億円近い水揚げ前の水産物流失は、沿岸漁家の現金収入の道を断たれた形となり、二重の打撃を与えた。

市町村別では、漁具流失、水産物流失のひとりった山田町が三億七千二百八十万円で最高、次いで二百七十五隻の漁船が流失、大破した宮古市が二億九千六百九十万円、陸前高田市一億八千二百七十万円などが目立つ。

現在のところ、総額では、三十五年五月二十四日のチリ地震津波による水産関係被害二十一億七千万円に比べ六億円程度下回っているが、県漁政課の推定では今後一、二億円は増加するものとみられている。

水産関係の市町村別被害額次の通り。

▽宮古市 二億九千六百九十万円▽釜石市 一億三千九百十万円▽陸前高田市 一億八千二百七十万円▽大船渡市 一億五千七百九十万円▽大槌町 六千百六十万円▽久慈市 一千四百九十万円▽岩泉町 一千三百万円▽田老町 一千三百万円▽山田町 三億七千二百八十万円▽種市町 六百三十万円▽野田村 二千五十万円▽三陸町 一億六千百万円▽田野畑村 四百十万円▽普代村 七千四百八十万円。

救援活動も本格化

生色を取り戻す被災地

十六日朝の十勝沖地震で大被害を受けた北海道、東北地方は十七日も断続的な余震に見舞われ、地震発生以来の余震回数は同日午後四時半までに百一回（気象庁調べ）を数えた。

しかし各被災地の住民たちはようやく大地震のショックから立ち直り、復旧作業は軌道に乗り始めた。政府は同日「十勝沖地震調査団」を現地に派遣、被害状況の調査などに乗り出した。

日赤などの救援活動も本格的に始まり、災害救助法が発動されている八戸、十和田、三沢、むつ、五戸の四市一町を中心に、食糧、毛布、衣類などの物資も被災地に送り込まれている。

十七日午後六時現在各道県警調べによる災害は死者四十四人、行方不明八人、負傷者一百四十二人、家屋全壊千二百六十二戸。農水産関係などの被害も調査が進むにつれて明らかになってきており、各県災害対策本部の調べでは同日夕までに青森県水産、港湾施設を中心に約四十六億円、宮城県カキ、ワカメの養殖施設が致命的な打撃を受け、水産被害だけで八億五千七百万円、岩手も養殖水産関係を中心に約八億円の被害を出し、いずれもさらに増える見込みという。

天災融資法を要請

県首脳が近く上京

天災融資法は、地震など自然災害で農林漁業が被害を受けた時被災団体、同組合などに必要な長期低利の資金を貸し付ける制度。被害状況によって利子や償還期間が違い、激しい地震の場合だと、年利三分五厘で六年償還、その他の地域が年利六分五厘、三年償還となる。同融資法が適用される条件としては、被害が数県にまたがって被害額が三千億円を超す場合に限られている。

同地震の県災害対策本部が十七日現在で確認した県内の被害額は八億九百八円なので、本県に融資法が適用されるには、同じ被害を受けた隣県の青森、北海道、本県の三道県が連絡を取って陳情することになる。本県でこの融資法に適用されたのは昨年の五、六月に北上、花巻を中心とする降ヒョウ、同九月の長雨、暴風雨、一昨年が六、七月の4号台風、九月の26号台風、五—十月の低温—などがある。

・住居の被害に対しては被害が最小限にとどまったため県では災害救助法は発動しないとしている。

天災融資法を要請

県議会の千葉一議長は十七日、各派と話し合って十勝沖地震の県議会災害調査団を県内各地に派遣することを決めた。同調査団は四班に分かれ十八日から二十日までの三日間災害状況を調査する。▽一班＝久慈市、九戸郡種市町、同野田村、下閉伊郡普代村＝坂本実（自民）、小野寺広元（社会）、藤文雄一郎（県政同志会）▽二班＝宮古市、下閉伊郡田老町、同田野畑村、同宮古町＝阿部清治郎（社会）、吉田義正（県政同志会）▽三班＝釜石市、上閉伊郡大槌町、下閉伊郡山田町＝新里善治（自民）、多田久平（同）、大島常次郎（社会）、佐藤文四郎（県政同志会）▽四班＝大船渡市、陸前高田市、気仙郡三陸町＝加藤勝佐（自民）、高橋節郎（社会）、鈴木三郎（県政同志会）。

道・県対策協を設置

衆院・参院も調査団派遣

【東京支社発】十勝沖地震の災害を受けた北海道、青森、岩手、宮城、秋田各県の東京事務所長会議は、本県の伊藤政孝所長らが出席して、十七日東京・永田町の全国都道府県会館で開かれ、全国知事会の中に被害道県による災害対策協議会を設置することを決めた。また二十一日被害調査を持ち寄り、政府に対する要望事項を検討、その後、各道県の主幹部長会議で要望事項を調整し、陳情運動を展開することを申し合わせた。

一方、衆参両院は同日調査団を被災地に派遣することを決めた。

宮沢長官、きょう県南遊説

岩動道行候補を応援する自民党本部遊説一班の宮沢喜一経済企画庁長官と久野忠治党総務局長は十八日午前十時五十五分花巻空港着の日本国内航空機で来県。岩動候補とともに花巻市、北上市、金ケ崎町、水沢市、前沢町、一関市を遊説して、同日午後六時から北上市諏訪町、文化会館広場で開かれる党政演説会に出席する。また同遊説一班として同日釜石市大町、釜石市民会館の岩動候補個人演説会に出席する予定だった赤沢正道自治相と渡辺一元運輸相の一行は、十勝沖地震の被害地視察のため、同演説会を中止、釜石市内で街頭演説だけを行なう。

社会党柴波町総支部の党員集会

社会党柴波町総支部（支部長本間県議氏）は、十八日午後七時から柴波教育会館で、千葉七郎候補の支援のため党員集会を開く。柴波地区労を中心とする婦人団体の盛り上がりを図るのがねらい。

岩間氏きょう来盛

共産党の岩間正男参議院議員は

選挙速報車

本社来訪

17日

村谷永一郎氏（紫波郡紫波町長）退院あいさつ。

牧除栄氏（農業土木技術士クラブ会長）小関豊治氏（小関測量設計株式会社代表取締役）

時事川柳

編集局選

盛岡市 伊東 青鳥

震度5がビルから人をゆすり出し

盛岡市 田中 太三

被災地へ候補の足がみな進み

盛岡市 西田ゆツオ

田んぼから田んぼへ公約吹き流し

胆沢町 佐々木好人

高貴の順に始まる田植え歌

東和町 佐々木 伸

南部コマ陣体の門くぐりかね

きょうの日程

▽岩動道行候補 午前七時盛岡市内周辺で街頭演説したあと花巻空港で宮沢喜一経済企画庁長官、久野忠治党総務局長の党本部遊説第一班を迎え、午後は花巻市、北上市、金ケ崎町、水沢市、前沢町、一関市で遊説。午後六時から、北上市諏訪町、文化会館広場で開かれる自民党政談演説会に、宮沢長官、久野局長、参院選挙区議候補、増田盛氏らとともに出席する。同夜は花巻温泉泊まり。個人演説会なし。

▽昆貞候補 午前六時三盛岡市中ノ橋通の選挙事務所を出発、宮手、郷下の浜氏、安藤、大更、平賀、一方井、沼宮内を回る。盛岡市に戻って夜食。午後は二戸郡入り二戸市、福岡町を経て金田一村で遊説。湯田温泉泊まり。小泉一郎総括責任者をはじめ、宮城恕二郎県議ほか数人が同行する。個人演説会なし。

▽千葉七郎候補 午前六時釜石市を出発。午前中は大槌町から山田町、宮古市を回る。午後からは田老町、新里村、川井村と下閉伊郡下を回り午後七時半盛岡市着。個人演説会なし。

▽高橋嘉一候補 午前七時ごろ大船渡市を出発、住田町、遠野市、宮守村、花巻市を回り、午後一時ごろ盛岡市入り。応援弁士吉岡正男参議院議員と合流、午後三時からバスセンター前、サンビル前、盛岡駅前の三カ所で街頭演説。個人演説会は午後六時から県公会堂。応援弁士は岩間参議院議員、鈴木憲県議会議員。

風土計

参院補選は十勝沖地震に話題をさらわれた格好で影が薄い。町々は地震の話でもちきりだが、余震がなお一週間以上続き、場合によっては震度4くらいの中震もありうる—と聞かされては、有権者も選挙どころではない。だが、そうかといって、選挙に無関心でよいということにはならない。▼気味悪い余震もものかわ、各候補は、町に村に車を飛ばして吉戦につとめている。運動期間が長くて、からだにもこたえようが、心臓だけはいずれの候補も地震なみの強さは持っているはず。せいぜいスタミナをつけて、有権者に意のあるところを訴えてほしい▼その政見だが、各候補は、つぎの通常選挙に臨む各党の政策をおおむね基盤としている。いずれも外交では「安保・防衛」内政では「国民生活の安定」を主眼とし、安保・防衛問題では与野党が真正面から対決している。酒、たばこをはじめとする物価の値上げには、国民もお手上げの格好だが、各候補は、どのようにして生活の安定を図るつもりか▼いずれの候補も、口ではそれなりに立派な政見を掲げてはいる。つまり作文の上では非の打ちどころがなさそうに見えるが、そのまま信用してよいものかどうか。有権者が知りたいのは、具体的な政策であり、通りいっぺんのものでは納得すまい▼参院補選の候補をいうわけではないが、つぐうのよいことばだけを並べたてて強調し、弱点は極力かくす候補がいつの選挙にもいるものだ。目立たせたくない点の部分を暗くし、強調したい部分を明るくするこ婦人の化粧を修整化粧法という。有権者の錯覚を利用するような候補も、この化粧法にどこか似通っていはしないか▼そのような候補を見抜くためにも、政見はよく聞く必要があるし、過去の実績と現在の活動を知ることも、むろん大事なことだ。幸い、参院補選の候補は、いずれも有権者には顔なじみで、その実績は調べやすい。要は、その訴える政見だが、立ち会い演説会は聞きのがされぬ機会だろう▼各候補とも、いまさら修整化粧をする必要もあるまいが、化粧法のついでにもう一言。素顔に近い自然さを出すテクニックを洗練化粧法という。こんどの選挙は、この洗練法についてもらいたい。いつものないその政見をこそ有権者は望んでいる。

衆参両院 災害施策ただす

激じん地指定急ぐ

政府答弁 地震予知に十年計画

十勝沖地震について大竹平八郎氏（自民）の質問に答える佐藤首相＝参院本会議で

衆院は十七日午後の本会議で、参院に引き続き十勝沖地震の被害状況について田中総理府総務長官から報告を求め、田中吉臣（自民・北海道）児玉末男（社会・宮崎）吉田之久（民社・宮城）鈴切康雄（公明・東京）の四氏が緊急救援対策、地震予知などの予防対策、財政支出と税等減免などについて政府の考え方をただした。

これに対して佐藤官房長官は閣議は「激じん地指定は出来るだけすみやかに行ない、災害救助法の適用は現地調査を横断して出来るだけのことをしたい」と答弁した。

（衆院本会議）

十七日の衆院本会議は午後一時二十七分開会。

一、十勝沖地震についての緊急質問にはいり。

田中正巳氏（自民・北海道）

一、十勝沖地震は関東大震災に匹敵するもので、激じん災害法に基づく激じん地の指定を敏速に行なうべきだ。

一、民生安定や災害額の査定、地方交付税の仮払いなどに万全を期すべきだ。

佐藤首相 一、十勝沖地震は予想を上回る被害を出した。特に今回の被災地は社会的、経済的環境の悪い地域であり、暖かく、きめの細かい配慮で万全を期したい。

田中総務長官 一、激じん地指定は出来るだけすみやかに行ないたい。中小企業の助成、補助金の特例、交付税の仮払い、災害救助法の適用などは現地の調査を横断して出来るだけのことはしたい。

児玉末男氏（社会・宮崎）一、地震予知の備えはどうなっているか。

一、道路など公共施設の整備を急ぐため、国庫補助、交付税、起債などの特別措置をとるべきだ。

水田義雄相 一、税の減免措置については、現行法による減免、徴収猶予などの措置を最大限活用するよう手配ずみである。

中曽根運輸相 一、地震予知の十カ年計画を立てており、これを的確に実施し予知に全力をあげる。

（参院本会議）

十七日の参院本会議は午前十時十分開会。

一、十勝沖地震の被害状況について田中総務長官が報告、これに対する質疑にはいり

大竹平八郎氏（自民、全国）が災害復旧の経費について質問。佐藤首相が答弁。

沢田政治氏（社会・秋田）総合予算主義、補正なし予算の場合

復旧に万全期す

首相答弁

緊急事態にどう対処するのか。

佐藤首相 一、総合予算主義だからといって災害の救助、復旧にこと欠くようなことは出来ない。救助、復旧には万全を期す。

一、原子力潜水艦佐世保入港に伴う放射能調査について鯖島科学技術庁長官が報告、これに対する質疑にはいり

湯田豊彦氏（社会・長崎）、黒柳明氏（公明・全国）が質問。佐藤首相、三木外相から答弁。

吉田之久氏（民社・宮城）、鈴切康雄氏（公明・東京）が震災による火災対策などを質問、佐藤首相、中曽根運輸相、保利建設相、水田厚相が答弁。

一、昭和四十二年度における国会による共済組合等からの年金受給者のための特別措置法等の規定による年金額の改定に関する法律等の改正案（昭和四十二年度における共済組合等共済組合法に規定する共済組合が支給する年金額の改定に関する法律の改正案（以上内閣提出）を緊急一括、全会一致で修正可決。

一、国民年金法等改正案（内閣提出）を緊急一括、全会一致で可決。

一、治山治水緊急措置法改正案（内閣提出）を緊急一括、可決。

回二時五十六分散会。

（参院補選立ち会い演説会の五候補登壇順序）

月日	時	市町村名	会場名	登壇の順序
5月21日	後7時	盛岡市	県教育会館	（伊藤、宮脇、千葉、昆、岩動）
22日	後7時	釜石市	釜石小	（昆、宮脇、千葉、岩動、伊藤）
22日	後7時	紫波郡	紫波町体育館	（昆、宮脇、千葉、岩動、伊藤）
23日	後1時	鳥谷崎市	石鳥谷町民館	（岩動、千葉、昆、伊藤、宮脇）
23日	後1時	花巻市	花巻小	（宮脇、伊藤、岩動、千葉、昆）
24日	後1時	花巻市	花巻町民会館	（伊藤、宮脇、昆、岩動、千葉）
24日	後1時	一関市	旧一関小講堂	（岩動、宮脇、昆、千葉、伊藤）
25日	後1時	大船渡市	大原公民館	（伊藤、宮脇、岩動、昆、千葉）
25日	後7時	千厩市	千厩小	（千葉、宮脇、岩動、昆、伊藤）
26日	後7時	陸前高田市	陸前高田市民会館	（昆、宮脇、伊藤、千葉、岩動）
26日	後7時	大船渡市	大船渡小	（伊藤、岩動、千葉、宮脇、昆）
27日	後1時	沢内村	沢内村体育館	（宮脇、千葉、伊藤、岩動、昆）
27日	後7時	水沢市	水沢市公民館	（千葉、伊藤、宮脇、岩動、昆）
28日	後1時	大船渡市	南部町民会所	（宮脇、岩動、昆、千葉、伊藤）
28日	後7時	江刺市	江刺市体育館	（昆、宮脇、千葉、伊藤）
29日	後1時	和賀町	和賀町体育館	（伊藤、昆、岩動、宮脇、千葉）
29日	後7時	黒沢尻市	黒沢尻工高	（昆、岩動、宮脇、千葉、伊藤）
30日	後1時	東和町	東和町民会館	（宮脇、岩動、昆、伊藤、千葉）
30日	後7時	遠野市	遠野小	（昆、宮脇、伊藤、岩動、千葉）
31日	後1時	釜石市	小佐野小	（昆、千葉、伊藤、岩動、宮脇）
31日	後7時	釜石市	釜石市民会館	（昆、伊藤、宮脇、千葉、岩動）
6月1日	後1時	田老町	田老小	（昆、宮脇、岩動、伊藤、千葉）
1日	後7時	山田町	山田公民館	（千葉、伊藤、昆、岩動、宮脇）
2日	後1時	宮古市	宮古小	（岩動、昆、宮脇、伊藤、千葉）
2日	後7時	宮古市	宮古小	（千葉、岩動、昆、伊藤、宮脇）
3日	後1時	岩泉町	岩泉小	（岩動、伊藤、千葉、昆、宮脇）
3日	後7時	盛岡市	沼宮内公民館	（千葉、岩動、宮脇、昆、伊藤）
4日	後1時	盛岡市	上田小	（昆、伊藤、千葉、岩動、宮脇）
4日	後7時	盛岡市	大更公民館	（昆、宮脇、伊藤、宮脇、千葉）
5日	後1時	盛岡市	一戸町民館	（岩動、岩動、宮脇、昆、千葉）
5日	後7時	盛岡市	福岡町体育館	（伊藤、岩動、宮脇、昆、千葉）
6日	後1時	盛岡市	雫石公民館	（岩動、千葉、伊藤、宮脇、昆）
6日	後7時	盛岡市	柳沢公民館	（岩動、昆、伊藤、宮脇、千葉）
7日	後7時	盛岡市	久慈市民会館	（千葉、昆、伊藤、岩動、宮脇）
			県公会堂	（宮脇、伊藤、岩動、昆、千葉）

登壇順きまる

補選立ち会い演説会

県選管は十七日午後五時から、県庁四階会議室で、二十一日から始まる参院補選立ち会い演説会の各会場における各候補の登壇順序を抽選で決定した。

立ち会い演説会は二十一日から六月七日までの十八日間、三十一市町村、三十四会場で開催されるため、抽選は各会場別に行なわれた。二十一日午後七時から盛岡市大通一丁目岩手教育会館で行なわれる第一回立ち会い演説会の登壇順は伊藤幸太郎（無）宮脇勝一（共産）千葉七郎（社会）昆貞（無）岩動道行（自民）各候補の順となった。各会場での一候補の演説時間は二十五分。各会場の演説順序別表のとおり。

（参院補選立ち会い演説会の五候補登壇順序）

月日	時	市町村名	会場名	登壇の順序
5月21日	後7時	盛岡市	県教育会館	（伊藤、宮脇、千葉、昆、岩動）
22日	後1時	釜石市	釜石小	（昆、宮脇、千葉、岩動、伊藤）
22日	後7時	紫波郡	紫波町体育館	（昆、宮脇、千葉、岩動、伊藤）
23日	後1時	鳥谷崎市	石鳥谷町民館	（岩動、千葉、昆、伊藤、宮脇）
23日	後1時	花巻市	花巻小	（宮脇、伊藤、岩動、千葉、昆）
24日	後1時	花巻市	花巻町民会館	（伊藤、宮脇、昆、岩動、千葉）
24日	後1時	一関市	旧一関小講堂	（岩動、宮脇、昆、千葉、伊藤）
25日	後1時	大船渡市	大原公民館	（伊藤、宮脇、岩動、昆、千葉）
25日	後7時	千厩市	千厩小	（千葉、宮脇、岩動、昆、伊藤）
26日	後7時	陸前高田市	陸前高田市民会館	（昆、宮脇、伊藤、千葉、岩動）
26日	後7時	大船渡市	大船渡小	（伊藤、岩動、千葉、宮脇、昆）
27日	後1時	沢内村	沢内村体育館	（宮脇、千葉、伊藤、岩動、昆）
27日	後7時	水沢市	水沢市公民館	（千葉、伊藤、宮脇、岩動、昆）
28日	後1時	大船渡市	南部町民会所	（宮脇、岩動、昆、千葉、伊藤）
28日	後7時	江刺市	江刺市体育館	（昆、宮脇、千葉、伊藤）
29日	後1時	和賀町	和賀町体育館	（伊藤、昆、岩動、宮脇、千葉）
29日	後7時	黒沢尻市	黒沢尻工高	（昆、岩動、宮脇、千葉、伊藤）
30日	後1時	東和町	東和町民会館	（宮脇、岩動、昆、伊藤、千葉）
30日	後7時	遠野市	遠野小	（昆、宮脇、伊藤、岩動、千葉）
31日	後1時	釜石市	小佐野小	（昆、千葉、伊藤、岩動、宮脇）
31日	後7時	釜石市	釜石市民会館	（昆、伊藤、宮脇、千葉、岩動）
6月1日	後1時	田老町	田老小	（昆、宮脇、岩動、伊藤、千葉）
1日	後7時	山田町	山田公民館	（千葉、伊藤、昆、岩動、宮脇）
2日	後1時	宮古市	宮古小	（岩動、昆、宮脇、伊藤、千葉）
2日	後7時	宮古市	宮古小	（千葉、岩動、昆、伊藤、宮脇）
3日	後1時	岩泉町	岩泉小	（岩動、伊藤、千葉、昆、宮脇）
3日	後7時	盛岡市	沼宮内公民館	（千葉、岩動、宮脇、昆、伊藤）
4日	後1時	盛岡市	上田小	（昆、伊藤、千葉、岩動、宮脇）
4日	後7時	盛岡市	大更公民館	（昆、宮脇、伊藤、宮脇、千葉）
5日	後1時	盛岡市	一戸町民館	（岩動、岩動、宮脇、昆、千葉）
5日	後7時	盛岡市	福岡町体育館	（伊藤、岩動、宮脇、昆、千葉）
6日	後1時	盛岡市	雫石公民館	（岩動、千葉、伊藤、宮脇、昆）
6日	後7時	盛岡市	柳沢公民館	（岩動、昆、伊藤、宮脇、千葉）
7日	後7時	盛岡市	久慈市民会館	（千葉、昆、伊藤、岩動、宮脇）
			県公会堂	（宮脇、伊藤、岩動、昆、千葉）

仲裁裁定を完全実施

閣議で決定

政府は十七日の閣議で、三公社五現業の賃金紛争に対する公労委の仲裁裁定の扱いを協議した結果、「政府はこれを完全実施する」との態度を決定した。

これに関連して水田蔵相は、完全実施のための財源措置は今後の企業努力、経費の移流用、予備費などでまかない、補正予算は組まないと発言、了承を得た。

仲裁裁定完全実施に必要な経費は八百三十六億八千万円。

被害額は八億円

県の対策本部集計まとまる

水産関係が半分以上も

「養殖」に大打撃

県漁政課調べ

救援活動も本格化

生色を取り戻す被災地

天災融資法を要請

県首脳が近く上京

道・県対策協を設置

衆院・参院も調査団派遣

県議会調査団が視察へ

宮沢長官、きょう県南遊説

社会党柴波町総支部の党員集会

岩間氏きょう来盛

選挙速報車

風土計

この紙面の著作権は岩手日報社が保持しています。無断転載、複製及び配布は禁止します。